

行事で知ったお米の大切さ

笠間市立笠間小学校 三年 根岸 なお

「大麦ばったり、そばったり、三角畑に松一本」

と、大きな声で言いながら子どもたちが地いきの家をまわってわらうちぼうで地面をたたきます。この行事は十五夜にやるほうさくをねがう行事です。

わたしの住んでいる所には、田んぼがたくさんあります。でも、わたしの家ではお米を作っていないません。だからわたしは、お米作りについてはいくわしく知っていませんでした。

秋になると子ども会もさんかする地いきの行事がたくさんあります。大麦ばったりのほか、いねかりやだっこく、新米し食会にもちつきと、いろいろなお米にまつわる行事を行っています。その一つ一つにさんかするうちに、わたしは地いきの人がお米を大切に作っていることがわかるようになってきました。

とくに、新米し食会でみんなであつまって
食べるごはんは、とてもおいしいです。それ
に楽しかったりもします。わたしはほかほか
の白いごはんを家で食べるよりもたくさん食
べます。地いきのおじいちゃん、おばあちゃん
たちも

「たくさん食べな。」

と言っ、てくれます。わたしたちが

「おいしかった。」

と言うと、とてもよろこんでいます。

一回にたくさん作るからおいしくなるのか
なあ。それとも子どもからおじいちゃん、お
ばあちゃんまでたくさんの人といっしょに食
べるからおいしいのかなあ。やっぱり、りよ
う方そろっ、ているからなんだと思います。

これから地いきの行事を通して、お米作
りの大へんさや大切さを知りたいです。そし
て大切に作っ、てくれたお米を感じ^やして食べ
たいです。